

さんぽ道ほ

白鷹町史談会

二つの境銘石



上町境界石

荒砥地区には、鮎貝地区との境界を記した石碑が二つ残されています。一つは荒砥上町のやまり菓子店の北側に、国道287号線沿いに地藏堂の道向かいにあります。もう一つは、荒砥新町三番坂上に六面鍾と並んであります。これらの石碑は最上川が大



新町境界石

雨で洪水になるたびに村の境界がわからなくなり、土地争いが起こっていたのを解決しようとして、嘉永二年(1849年)に建てられた

(白鷹町史談会 守谷英一)

ものです。上町の石碑にはこの石から鮎貝箕和田地区の稲荷堂まで850間(約1600メートル)、内荒砥分は550間(約1000メートル)、箕和田分が327間(約600メートル)と記されています。新町の石碑にはこの石から鮎貝阿弥陀壇まで587間半(約1060メートル)、内荒砥分が380間(約680メートル)、鮎貝分は207間半(約380メートル)と記されています。

この二つの石碑が建てられたことで、村と村の境界争いは避けられるようになったのだらうと思います。それにしてもどのようにして遠く離れた場所の距離を測ったのか知りたいものです。



あゆみしる

白鷹町歴史民俗資料館

物 話 つむぐ みんなで

白鷹町大字十王
2558 番地 1
☎ 88-7160
開館日：金・土・日
時 間：9時～17時

4月から2ヶ月にわたり開催した、グランドオープン記念の企画展「耐震分野の父 佐野利器」が無事に終了しました。期間中は予想を超える多くの方にご来館いただき、そして多くの感想をお寄せいただきました。スタッフ一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

皆さまからの声をほんの一部、ご紹介します。

- ・全く知らなかった白鷹の偉人の存在と歴史を知れて良かった
- ・先人の偉業を子供たちに伝えたい
- ・他の偉人も紹介してほしい

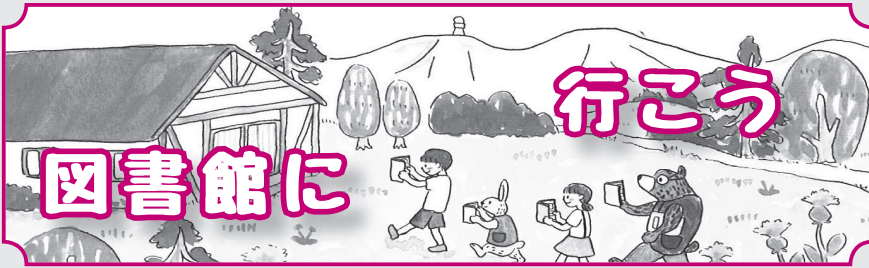
あゆみしるは、白鷹町の歴史をもっと身近に、大切に感じてもらえるよう歩んでまいります。これから開催していく企画展も、どうぞご期待ください。

《夏の企画展》 「民具の音をきこう」

▼会 期：7月8日(金)～10月2日(日)

▼入館料：200円(常設展含む) 中学生以下無料

民具が奏でる「音」を聞いてみましょう。「音から楽しむ民具」をテーマにした珍しい企画展は、小さなお子様からお楽しみいただけます。夏休みはぜひご家族でお立ち寄りください。



◎開館時間：午前9時～午後7時

◎休館日：7月14日(木)
28日(木)

◎白鷹町立図書館 ☎ 87-0217

《おすすめ図書》



『針と糸』 小川 糸 /著 (毎日新聞出版)

小川糸さんは、山形県出身の作家ということで以前からなんとなく惹かれるものがあり、様々な小説を手にとってきました。このエッセイを読んで、糸さんとお母さんの関係が複雑だったことを初めて知りました。確執があったとは…。驚きで何とも言えない気持ちになりましたが、その環境が様々な作品を生み出すことに繋がっていたのだと思います。そのことに気づかせてくれたのがこの本です。この本を読むと、今までの小川糸作品の違う面に気づくことができる気がして、もう一度、糸さんの小説が読みたいくなります。(白鷹中学校教諭 土屋久美子)

《イベント》

白鷹町立図書館「おとなの“読み聞かせ講座”」のご案内
「絵本」を心の友に！

〈日時〉6月19日(日) 午後2時～午後3時30分
〈場所〉中央公民館 大会議室

講師：絵本キュレーター
金子聡子さん

絵本は「人生に3度」

- ♥子どものとき
- ♥子どもたちに読み聞かせをするとき
- ♥そして、あなた自身のために読むとき



申込み：7月8日(金)まで白鷹町立図書館に電話でお申し込みください。☎ 87-0217

◆新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、延期する場合があります。その際は、白鷹町立図書館ホームページでお知らせします。

今年も、金子聡子さんの
“心地よい読み聞かせの世界”にひたしましょう！
あなたの人生の友に
「絵本」を！
読み聞かせのヒントもいただけます。

おはなしの会

〈日時〉7月2日(土)
午前10時～10時30分
〈場所〉中央公民館
ミーティングコーナー

♥ミニミニお楽しみもあります。お待ちしております。

読書感想文講座

中高生を対象に、選書や感想文の書き方のお手伝いをします。7月17日・24日・31日の日曜日午後2時～3時申し込みは必要ありません。

「ボランティア向け“読み聞かせ講座”」を、「白たか子どもの本研究会」のみなさんのご協力を得て開催しました。大型紙芝居の紹介や研究会の方の実演、読み聞かせをするにあたっての配慮や心構えなど、多くを学ぶことができました。ちょうど学校での読み聞かせボランティアが始まる時期とあって、参加されたみなさんも熱心に聞きっていました。「白たか子どもの本研究会」のみなさん、ありがとうございました。



《新着図書》 (掲載しているのは新着図書の一部です)

主な新着図書	著者	主な新着図書	著者
くるまの娘	宇佐見りん	刺し子糸で楽しむ刺繍	堀川 波
マイクロスパイ・アンサンブル	伊坂幸太郎	おにぎりおにぎり (絵本)	長野ヒデ子
パイパイ・ママイヤ	乗代 雄介	ウルトラマンと学ぶ宇宙と生命体 (絵本)	高水 裕一
さよならデパート	渡辺 大輔	ありがとうなかよし (絵本)	しもかわらゆみ
プーチン政権の間	林 克明	た (絵本)	田島 征三